



開成館にて久保田チェンバロ工房製の楽器を展示販売

展示期間：2020年11月19日～2021年1月初旬頃(予定)

三木楽器開成館にて、日本有数のチェンバロ工房である久保田チェンバロ工房製のチェンバロ、ヴァージナル、スピネットを展示販売いたします。開成館では初めての試みです。ご試弾やご見学でのご来店も歓迎いたします。

関連企画として、11/28(土)にはチェンバロ奏者の中田聖子さんによる演奏会も開催(本面裏側でご案内)。演奏会では、バロック音楽の様々な面に光を当てる数々のチェンバロ曲の他、11月3日から開催のロンドン・ナショナル・ギャラリー展(大阪市北区中之島・国立国際美術館)で展示されることでも話題のフェルメールの名画《ヴァージナルの前に座る若い女性》のモチーフのひとつ、ヴァージナルを用いた演奏もお届けいたします。



二段鍵盤チェンバロ

フランドル様式ルッカーズモデル
フル装飾バージョン
幅90cm 奥行230cm
非売品



ヴァージナル

17世紀フランドル様式
フル装飾バージョン
幅140cm 奥行50cm
価格：税別1,800,000円



スピネット

18世紀イタリア様式
塗装モデル
幅170cm 奥行60cm
価格：税別980,000円



一段鍵盤チェンバロ

ベーシックモデル
外装はオーダー色にて塗装
幅78cm 奥行183cm
価格：税別980,000円

久保田チェンバロ工房のご紹介

1981年に設立された、日本で最も実績のあるチェンバロ工房のひとつ。
久保田チェンバロ工房製の楽器は数多くの演奏会やCD録音等で用いられているほか、横浜そごう美術館での「レオナルド・ダ・ヴィンチ展」(2017年)や「フェルメール・光の王国展」(2018年)で展示・演奏されるなど、様々な機会に取り上げられている。また東京を代表する古楽の公演会場のひとつである近江楽堂(東京オペラシティ内)では、氏が制作した17世紀フレンチスタイルのチェンバロが使用されている。工房代表の久保田彰氏の著書に「チェンバロ 歴史と様式の系譜」(ハンナ)、「図解 チェンバロ・メンテナンス」(東京コレギウム)等がある。
WEBサイト：<https://kubota-cembalo.com/>

※展示品のデザインや機種、価格、台数等は予告なく変更になることがあります。



三木楽器
開成館 営業時間10:00~19:00(毎週水曜日定休)
大阪府中央区北久宝寺町3-3-4 TEL.06-6252-1820 <https://piano.miki.co.jp/> 又は

